

平成30年度全国学力学習状況調査の結果

京都市立伏見板橋小学校

4月17日に、6年生を対象に実施された「全国学力学習状況調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語・算数・理科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果(国語・算数・理科)

国語 A(主として知識に関する問題)国語 B(主として活用に関する問題)ともに、全国平均を上回りました。算数 A(主として知識に関する問題)と算数 B(主として活用に関する問題)、理科についても全国平均を上回りました。

国語科より

国語 Aでは「言語の理解」や「漢字」の項目が全国平均を大きく上回っており、最もよくできていました。

国語 Bでは、内容の読み取りがよくできている結果となりました。本校に限らず全国的に条件を満たして「自分の考えを書く」ことの課題が見えました。

算数科より

算数 Aでは、「図形」「計算」「量」など、どの項目も全国平均を上回っており、バランスよく理解ができていました。

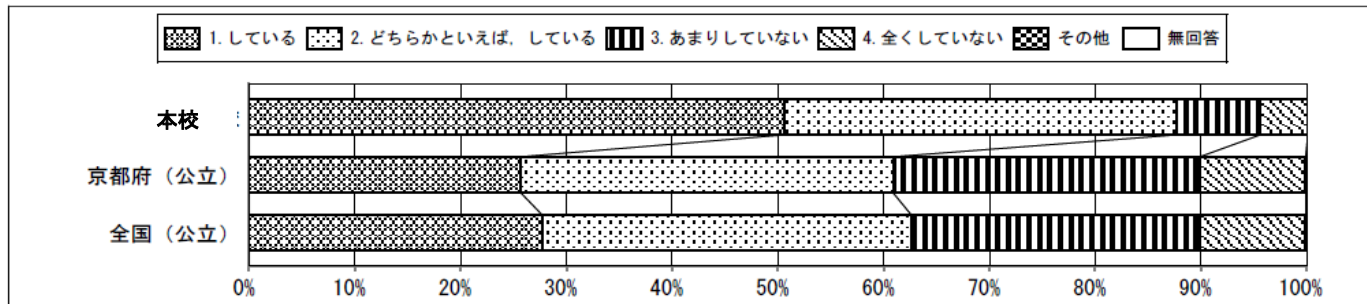
算数 Bでは、角の大きさを求めるなど「図形」の問題がよくできていました。A 問題と同じく、どの項目もおおむねよくできていました。

理科より

3年ぶりに理科が実施され、本校は全国平均を上回りました。4, 5年生時の問題もありましたが、電流の流れや食塩水の問題などよく理解できていました。「物質」「エネルギー」「生命」「地球」どの項目もバランスよくできていました。

児童質問紙調査から① 家庭学習について

質問番号	質問事項										
(12)	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	50.6	37.1	7.9	4.5						0.0	0.0
京都府(公立)	25.7	35.2	29.0	10.0						0.1	0.0
全国(公立)	27.7	34.9	27.3	10.0						0.1	0.0



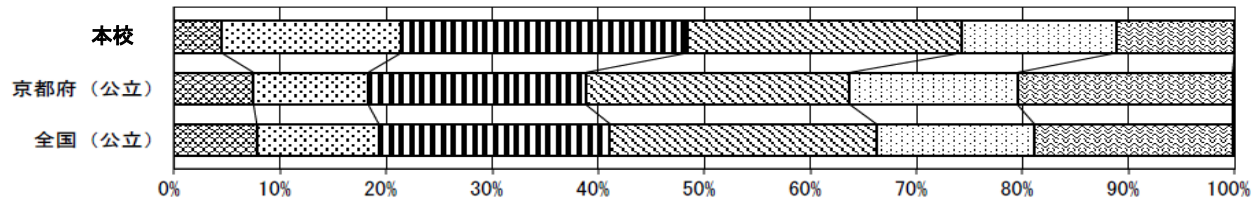
家庭学習の様子『家で、学校の授業の予習・復習をしていますか』の問いに対して、「している」50.8%と「どちらかといえば」37.1%を合わせると 87.9%と全国と比べても高い結果となっています。自主学習の中で自ら考え、予習・復習をしていることがあげられます。別問『家で、学校の宿題をしていますか』でも「している」が 95.5%「どちらかといえば」が 4.5%, 合わせて 100%となっています。

これらのことから家庭での学習にきちんと取り組んでいることが、理解の定着につながっていると考えられます。

児童質問紙調査から② 読書について

質問番号	質問事項										
(15)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	4.5	16.9	27.0	25.8	14.6	11.2				0.0	0.0
京都府（公立）	7.5	10.8	20.5	24.9	15.8	20.3				0.1	0.1
全国（公立）	7.8	11.5	21.8	25.1	14.9	18.7				0.1	0.1

1. 2時間以上 2. 1時間以上、2時間より少ない 3. 30分以上、1時間より少ない 4. 10分以上、30分より少ない
 5. 10分より少ない 6. 全くしない その他 無回答



1日当たりの読書の時間については、1時間以上の割合が21.4%と全国とほぼ同じような割合になりました。本の世界から学べることはたくさんあるだけでなく、感性も養われると思います。校区には伏見中央図書館もありますので、今後も読書の時間を大切にしたいと思います。学校では、子どもたちに読書の良さをさらに知ってもらうために、「朝の読み聞かせ」「伏見中央図書館の司書さんの読み聞かせ」「図書館の整備」など新たな取組の充実をはかっています。また、こうした取組が読みものとしての読書だけでなく、分からないことについて調べ、解決していくための本の活用にもつながってほしいと考えています。また、現在、伏見中学校と図書を活用した授業についての連携をしています。

全体を通した本校の成果と課題

国語・算数・理科ともに京都市と全国の平均を上回っていました。前述したように家庭での学習がしっかりとできていることや児童調査票の『算数の勉強が大切だと思いますか』という問いに約80%、『理科の勉強が大切だと思いますか』という問いに約85%の児童が「当てはまる」と答えているように、日常生活や将来での活用も含め、学習の意義を理解して取り組んでいる児童が多いことがあげられると考えられます。さらに特徴的なこととして、『朝食を毎日食べていますか』の問いに「当てはまる」と回答した児童が87.6%と比較的高く、『学校の決まりを守っていますか』の問いにも「当てはまる」「どちらかといえば」を合わせると95.5%と高くなっています。これらのことも学習とは、無関係ではないように思います。

気になるところでは、『自分にはよいところがあると思いますか』の問いに「当てはまる」と回答した児童は38.2%でした。「どちらかといえば」を含めると87.6%となるのですが、自分を自分で認め、大切にしていける、そんな子どもたちに全員が育ってほしいと思っています。

保護者の皆様へ

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更に伸ばし、課題を解決していくためのものです。結果が学力のすべてを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。

学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。確かな生きる力をつけていくために、引き続き、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりに一層のご協力をお願いいたします。

京都市の結果は「京都市教育委員会ホームページ」に公表されています。